

第16期 第3回小平市緑化推進委員会 会議要旨

- 開催日時 平成31年1月31日（木）午後6時30分～午後8時30分
- 開催場所 小平市役所 6階 601会議室
- 出席者 椎名委員長、山田副委員長、水野委員、市川委員、田中委員、八田委員、千葉委員、菊地委員、和田委員、加藤委員、大久保委員、栗原委員（順不同）
- 傍聴人 なし
- 議題 (1) 第16期小平市緑化推進委員会の検討課題について
(2) その他
- 配付資料 (1) 第16期第3回小平市緑化推進委員会次第
(2) 小川用水における魚類等のへい死について
(3) 小平市観光まちづくりに関わる基礎調査報告 抜粋
(4) 小川駅前周辺地区の交通量調査結果（概要版）
(5) グリーンロードと小川駅周辺地区の通行量について
(6) 砂川用水について
(7) 砂川用水の現況調査結果
(8) 第16期小平市緑化推進委員会1回、2回の委員提案事項列挙
(9) 第16期第1回小平市緑化推進委員会 会議要旨
(10) 第16期第2回小平市緑化推進委員会 会議要旨

会議の要旨

まず、事務局から配付資料（2）小川用水における魚類等のへい死について、（3）小平市観光まちづくりに関わる基礎調査報告書 抜粋、（4）小川駅前周辺地区の交通量調査結果（概要版）、（5）グリーンロードと小川駅周辺地区の通行量についての説明があった。

説明後、次のとおり質疑があった。

委員

グリーンロードと言っても、北側と南側で利用目的が異なるように感じるが、グリーンロードの利用目的は何になるのか。

事務局

狭山・境緑道については、花小金井駅前や小平駅前を通ることや、自転車の通行が可能であるために、通勤通学等の生活道路になりがちである。一方、玉川上水の緑道では自転車の利用が難しいことから、生活道路になりにくいのではないかと考えられる。

委員

グリーンロードが生活道路になっているならとてももったいないことだと思う。他の利用目的をつくって利用してもらおう仕掛けが必要であると思う。

事務局

狭山・境緑道においても、休日の花小金井駅から小金井公園への道や、小平駅からたけのこ公園への道においては公園利用者が多く利用している状況があるが、あくまでも限定的である。

委員

小川用水における魚類へい死について、3点質問する。1点目は、死んでいる魚は幼魚か成魚かわかるか。2点目は、魚の検体調査は実施しているのか。3点目は、胎内掘の工事により止水した影響は考えられるのか。

事務局

1点目の幼魚か成魚かについては、判別できていないが、大きさでいうと、大小両方死んでいるのが確認できている。2点目の魚の検体調査については、実施していないが、水質調査については現在分析中である。3点目の胎内掘の工事の止水による影響については、水量が回復しているなかで発生しているので、影響はないと考えている。

委員長

工事前に実施した生態調査と今回死んだ生物の種類が一緒であるのであれば、水質が原因であると考えられるのではないかと。

続いて、委員より配付資料（6）砂川用水について、（7）砂川用水の現況調査結果の説明があった。

説明後、次のとおり質疑があった。

委員

水が流れるときと流れないときがあるがその理由は何があるか。

事務局

小平に水が流れるまでに立川、国分寺と流れてくるので、他市で護岸工事や沼さらいなどで止水すると小平には水が流れなくなることがある。

委員長

水が流れるときと流れないときのメカニズムは、追求しなければならないと思う。松中橋に砂川用水、柴崎用水の取水口があるが、砂川用水の方が取水量が少ないということは考えられないか。また、武蔵野線のトンネル内の地下水は現在流れていないのか。

事務局

松中橋の取水口では、柴崎用水よりも砂川用水の方が取水量は多いように見受けられる。また、武蔵野線のトンネル内の地下水については、新堀用水の鎌倉橋付近に立坑があり、以前は水が流れていたが、現在は流れていない状況である。

委員長

説明のなかで、廃棄物により流水がなくなっている場所があるとの話があったがどのような状況なのか。

事務局

上鈴木稲荷神社付近である。道路の暗渠になる手前にスクリーンがあり、その隣に逸水防止のための排水口がある。排水口は用水路の底にあり、板で塞いでいるが、腐敗して取れてしまうことがある。

委員

近隣住民の方の話によると、年に数回程度水が流れることがあるが、ほとんどが空掘りの状態であるとのこと。水が溢れたことはないとのことである。

委員長

近隣住民の方にお願ひして、用水路に水が流れている日をチェックしてもらうことができればよいのだが。砂川用水の流水のメカニズムを掴むというのは、小平がやらなければならないと感じている。

委員

小平市内の砂川用水の暗渠部分の構造はどうなっているか把握できているか。

事務局

ヒューム管やボックスカルバートが入っているところもあるが、多くは蓋がけしている状態である。

委員

新小金井街道の西側で砂川用水の上に住宅が建っているところもあるが、どういう状況なのか。

事務局

公図上、用水路になっていないところがあるため、住宅が建っている。仮に小金井市へ通水するとなればそこは切り回しをする必要がある。

委員

暗渠になっている場所が駐車場になっているようなところもあるが、市で占用の許可を出しているのか。

事務局

用水路であっても公図上にない場所については、市に権限自体がないが、そうでない場所については、駐車場を目的とした占用の許可は出していない。

委員長

公図上にないというのは、用水路が国の所有であった頃に埋立てられたことが考えられる。埋立ての免許により、海や河川などの埋立てをすれば、埋立てをした人がその土地の所有者になるということがある。

続いて、委員より配付資料（８）第１６期小平市緑化推進委員会１回、２回の委員提案事項列挙についての説明があった。

説明後、次のとおり質疑があった。

委員

今回砂川用水を調べたことで、知らないことが多くあることがわかった。また、近隣住民もその土地のことをよく知らないということがあったので、小平の緑のことをもっと知ってもらうことが大事であると感じた。

委員

中央公民館や福社会館などの公共施設の複合化に関するデザインカフェに参加したが、屋上緑化やマルシェを取り入れるといった提案があり、緑化推進委員会の提案に似ている部分があった。公共施設の建て替えに対して緑化の提言ができないか。

委員長

31年度か32年度で建て替えを検討している公共施設について、緑化推進委員会のなかで具体的な提案ができればおもしろいと思う。再開発についても緑化に関する具体的な提案をする必要があると感じている。

以上